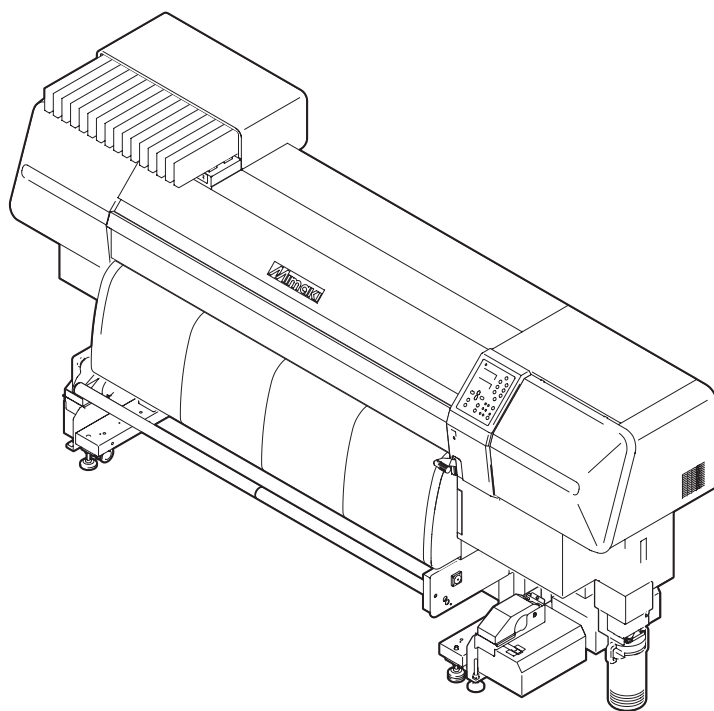


TS5-1600AMF

AMFユニットをお使いになるとき

取扱説明書



はじめに

このたびは、TS5-1600AMF をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書では、本機の AMF ユニットをお使いになるときのメディアのセット方法を説明しています。

本機での作図方法や各種設定については、本機に添付している取扱説明書をご参照ください。

目次

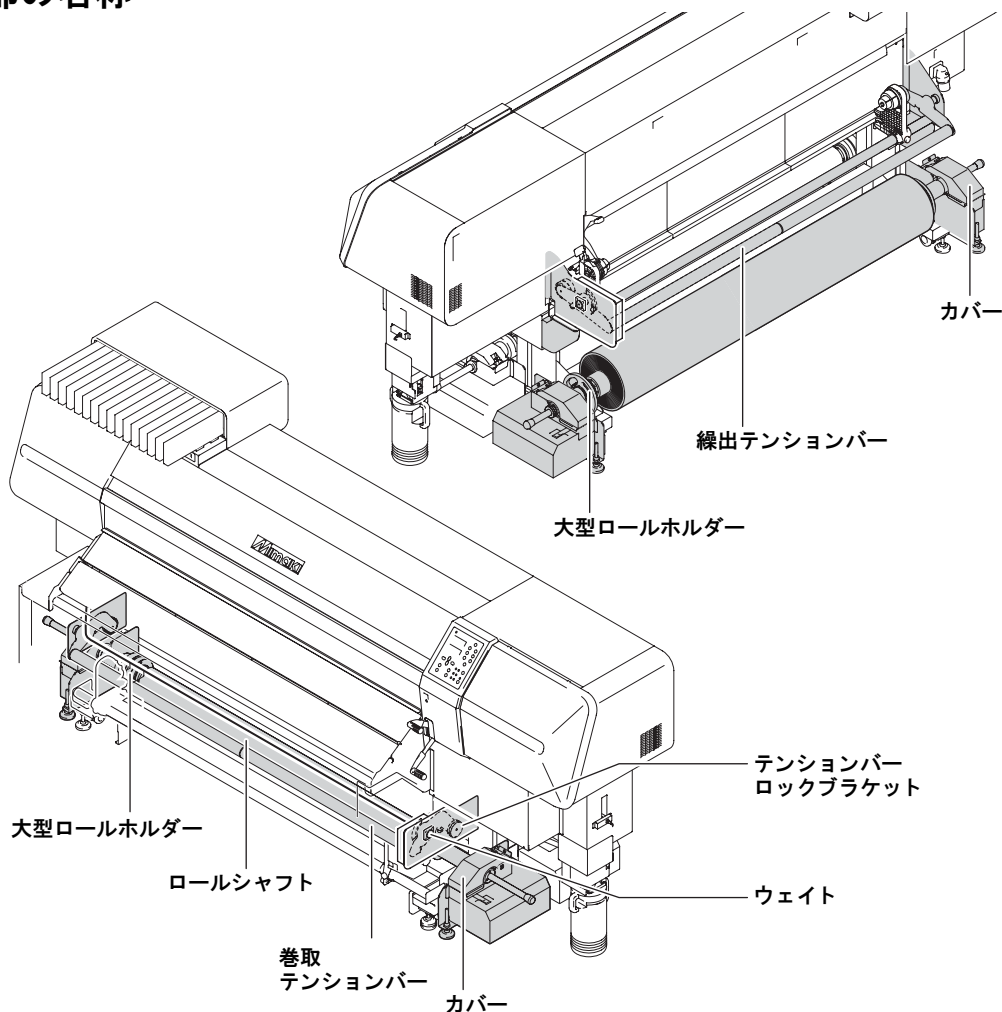
AMF ユニット使用時のロールメディアに関する仕様	4
各部の名称	4
AMF をお使いになる前に	5
メディアのセット	5
メディアをセットする前に	6
メディア巻取装置に紙管をセットする	7
メディア繰出装置にメディアをセットする	9
テンションバーのウェイトを調節する	18

AMF ユニットを使うと、自動的にメディアの繰り出し / 巻き取り動作を行うことができます。

AMF ユニット使用時のロールメディアに関する仕様

項 目		仕様
使用可能メディア		昇華転写紙
最大作図範囲		1620 mm
ロールメディア サイズ	最大幅	1630 mm
	最小幅	297 mm
	厚さ	1.0 mm 以下
	ロール外径	φ 250 mm 以下
	ロール重量	38 kg 以下
	紙管内径	3 インチ
巻終わり処理		紙管にテープ止め、または弱粘着
作図マージン		左右 : 15 mm (デフォルト値) 前 : 150 mm 後 : 0 mm

各部の名称



AMF をお使いになる前に

本体側の設定を確認してください

FUNCTION ボタンで
マシンセッテイ→クリダシ&マキトリ→ソウチセンタク <ent> の操作を実行し、
[クリダシ：ON][マキトリ：ON]になっていることを確認してください。

設定が [OFF] になっていると、動作しません。

また、AMF を使用しないで、小型ロールホルダーで作図する場合、上記の設定でクリダシ&マキトリを [OFF] にしてください。

重要! ■線出装置または巻取装置のみの単独使用は作図不良の原因になる可能性がありますので行わないでください。

メディア送り設定をノーマルにしてください

FUNCTION ボタンで
セッテイ→センタク→メディアオクリセッテイ→オクリハウシキ <ent> の操作を実行し、
[セッテイ：ノーマル]になっていることを確認してください。

重要! ■送り設定がノーマルでなかった場合、送り精度に問題が発生する可能性があります。必ずノーマルを選択してください。

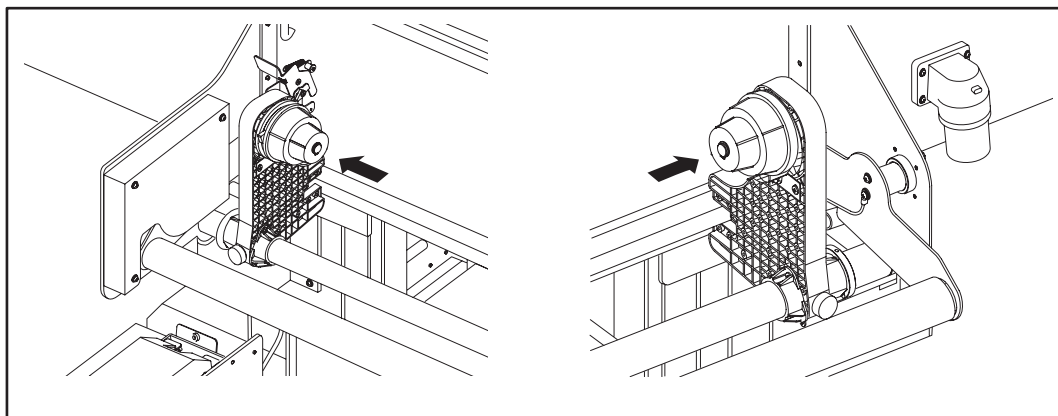
メディアのセット

- 重要!**
- 透明なメディアをセットすると、ディスプレイに [ERROR 50 メディアケンシュツ] のメッセージを表示し、メディアを検出できない場合があります。
 - メディアに直射日光が当たっていると、正しくメディア幅を検出できない場合があります。
 - 作図済みのメディアは使用しないでください。インクがピンチローラーに付着し、メディアが汚れたり、メディア検出できない場合があります。
 - カールがきついメディアや内巻きのメディアは、メディアがプラテンに沿うように、巻きくせをなおしてからご使用ください。

メディアをセットする前に

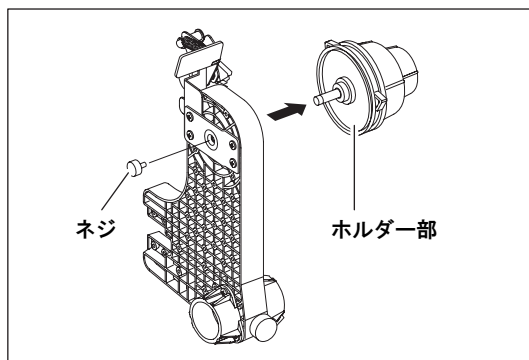
メディアをセットする前に、小型ロールホルダーを移動させてください。

- 1 小型ロールホルダーを左右のストッパーに当たるまで外側に移動させます。



- 2 原点側の小型ロールホルダーのホルダー部を外します。

右図のネジを緩め、ホルダー部を外します。



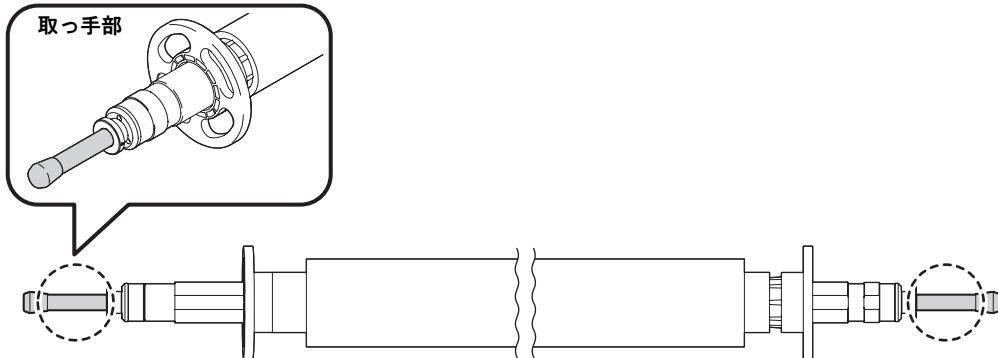
- 重要!**
- 外したホルダー部とネジは、紛失しないように大切に保管してください。
 - 小型ロールホルダーを使用する場合は、ホルダー部を元の状態に戻し、マシンセッテイを変更してください。(5 ページの「本体側の設定を確認してください」を参照)

メディア巻取装置に紙管をセットする

プリンタ本体の前面にあるメディア巻取装置に、メディアを巻き取るための紙管をセットします。

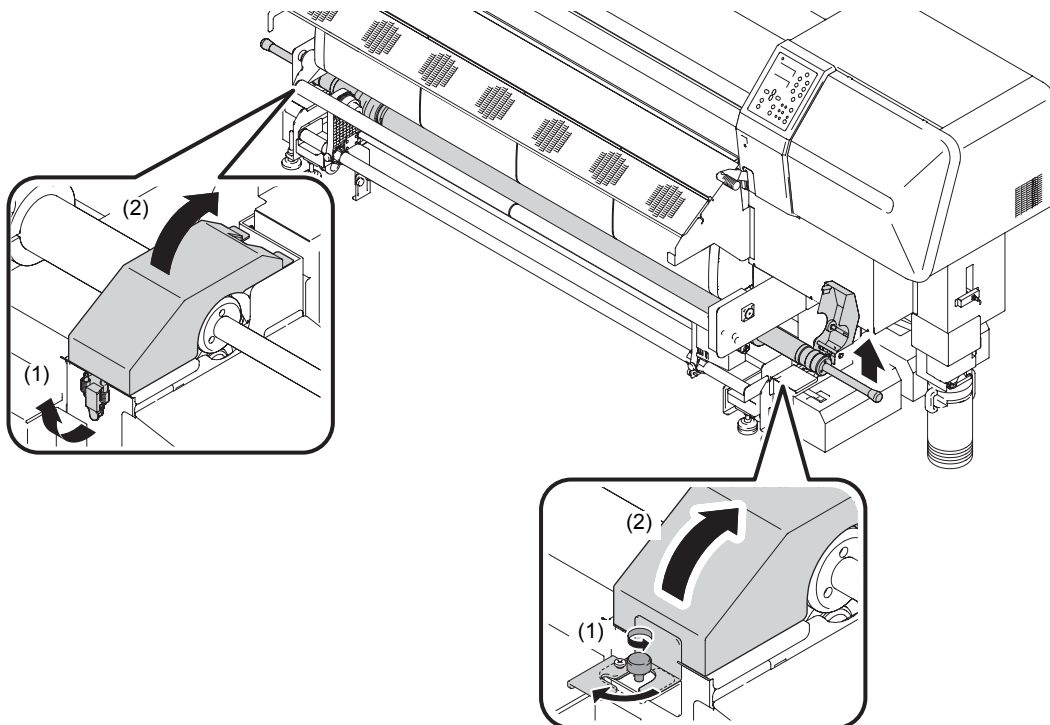


■ロールシャフトはメディアの重量も含めると、とても重くなるため、取り扱いには十分ご注意ください。また、事故やケガ等を防ぐため、ロールシャフトを持つときは、必ず両端の取っ手部を持ってください。

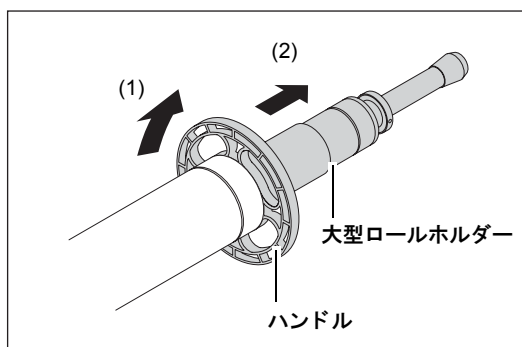


操作手順

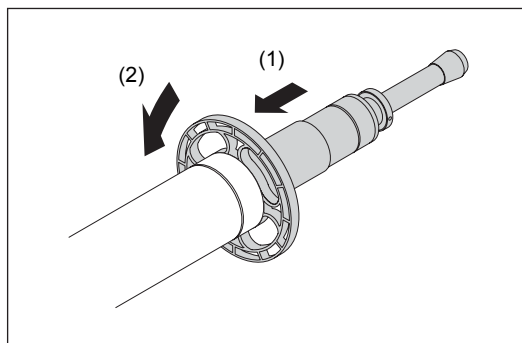
- 1 プリンタ本体の前面にあるメディア巻取装置の左右のカバーを開け、ロールシャフトを取り外します。



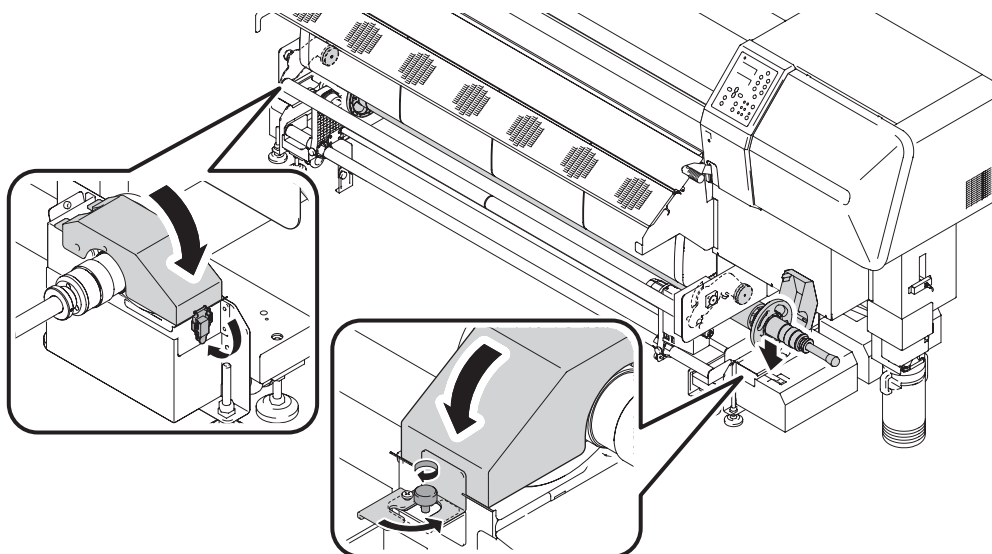
- 2** 左右の大型ロールホルダーを外します。
(1) ハンドルを回し、ロックを緩めます。
(2) 大型ロールホルダーを取り外してください。



- 3** ロールシャフトを空の紙管に通し、紙管に大型ロールホルダーを取り付けます。
(1) 大型ロールホルダーを取り付けます。
(2) ハンドルを回し、大型ロールホルダーをロックします。



- 4** 紙管をセットしたロールシャフトをメディア巻取装置にセットし、左右にあるカバーを閉めます。



次に、メディアの繰出側へメディアをセットします。次ページに進んでください。

メディア繰出装置にメディアをセットする

プリンタ本体の背面にあるメディア繰出装置に、ロールメディアをセットします。

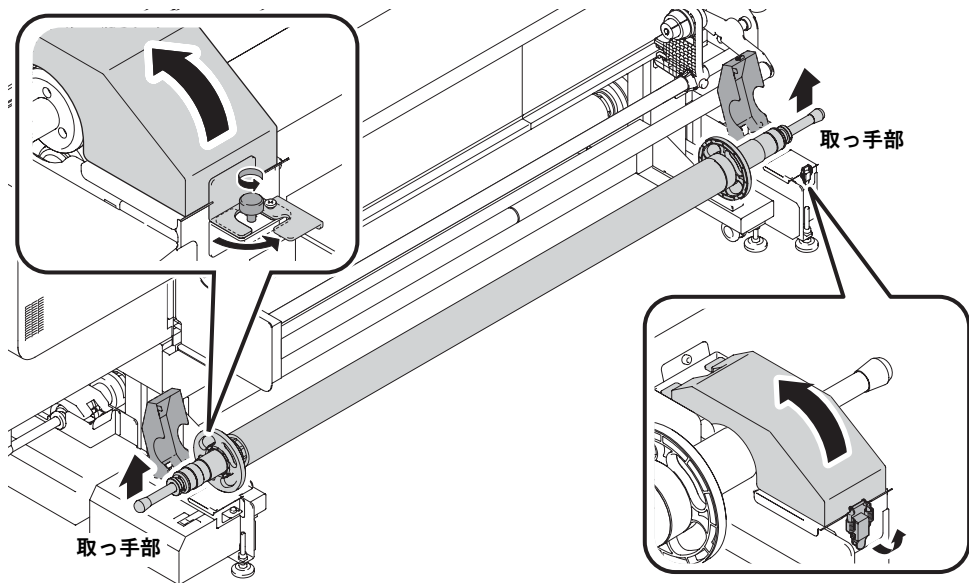


- メディアを足などに落とさないよう注意してください。
また、腰を痛める可能性がありますので、注意してください。

操作手順

1 ロールシャフトを取り出します。

- (1) プリンタ本体の背面にある、メディア繰出装置の左右のカバーを開けます。
- (2) メディアをセットするためのロールシャフトを取り外します。

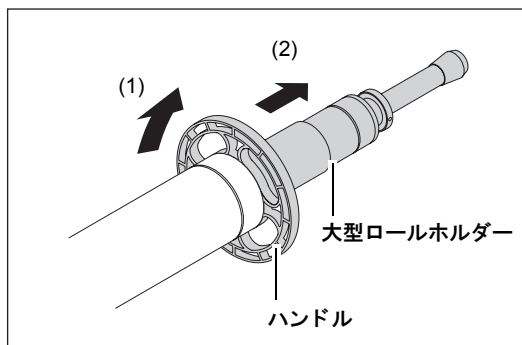


- ロールシャフトを持つときは、必ず両端の取っ手部を持ってください。
他の部分を持つと、指が挟まれる恐れがあります。
また、腰を痛める可能性がありますので、注意してください。



- ロールシャフトを本装置から取り外して紙管やメディアをセットするときは、ホコリ等の付着を防ぐため、台やシートの上などで作業してください。
紙管やメディアにホコリ等が付くと、作図の不具合の原因になります。

- 2** 左右の大型ロールホルダーを外します。
 (1) ハンドルを回し、ロックを緩めます。
 (2) 大型ロールホルダーを取り外してください。

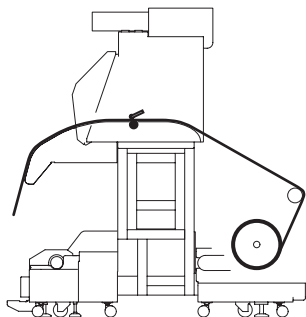


- 3** ロールシャフトをメディアの紙管に通します。

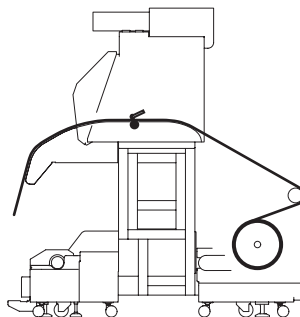


■メディアは、表と裏のどちらに作図するかにより、ロールシャフトへのセットの方向が変わります。

作図面がロール外側の場合
 (外巻きにセット)

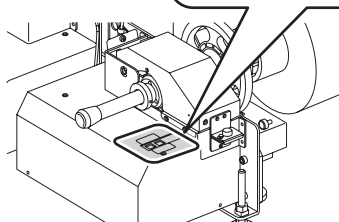


作図面がロール内側の場合
 (内巻きにセット)



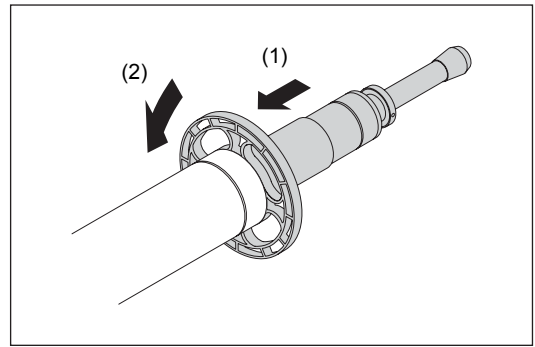
- 4** メディアのセット方向に合わせて、繰出装置のスイッチをセットする

作図面がロール外側の場合 (外巻きにセット)		作図面がロール内側の場合 (内巻きにセット)	
手動 MANUAL		手動 MANUAL	
自動 AUTO		自動 AUTO	



5 メディアに大型ロールホルダーを取り付けます。

- (1) 大型ロールホルダーを取り付けます。
- (2) ハンドルを回し、大型ロールホルダーをロックします。

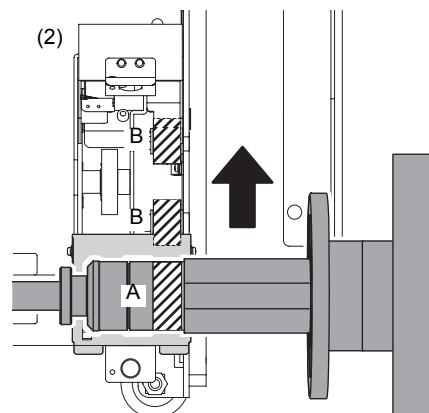
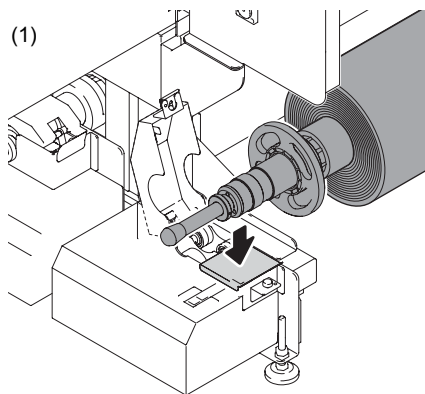


6 ロールシャフトをメディア繰出装置にセットします。

- (1) ロールシャフトを仮置き台 (平らな部分) に置きます。
- (2) ロールシャフトの A 部分 (位置決め部) を B ベアリングに確実に載せます。



- A 部分 (位置決め部) は、ロールシャフトの片側にしかありません。
- A 部分 (位置決め部) は、左右どちらの繰出装置にセットしても構いません。



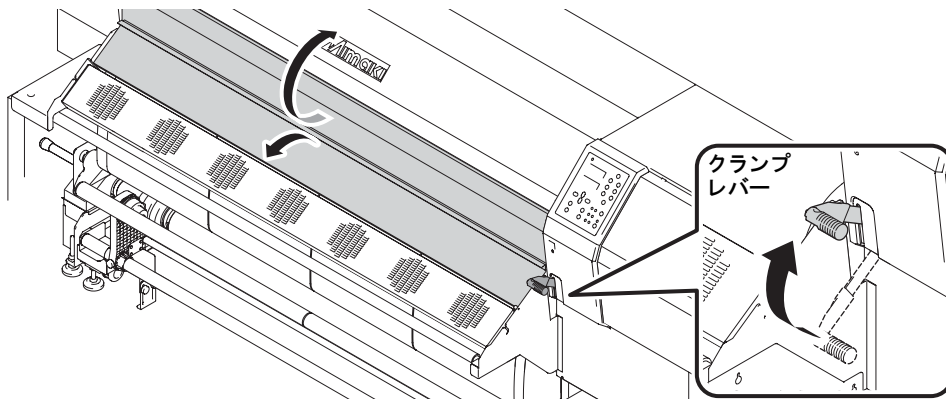
次に、メディアを調整します。次ページに進んでください。

メディアを調整する

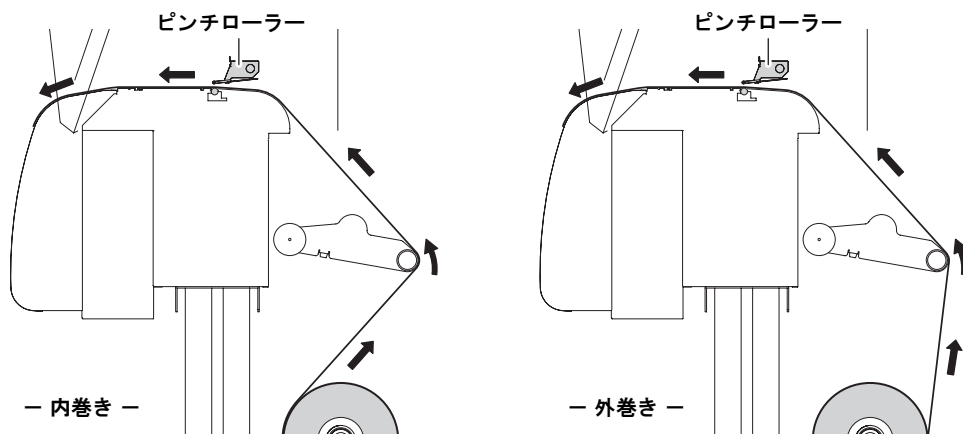
メディアを調整して、作図できる状態にします。

操作手順

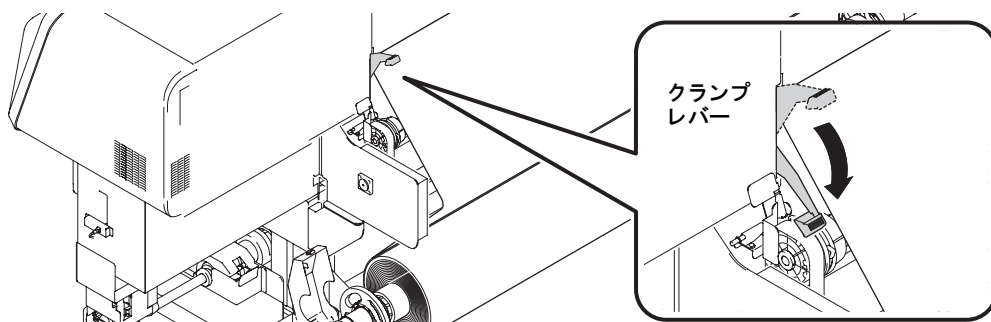
- 1 フロントカバーを開けます。
前面のクランプレバーが下がっている場合は、レバーを上げます。



- 2 メディアを前面に出します。
ロールメディアをプラテンとピンチローラーの間に差し込み、前面まで出します。

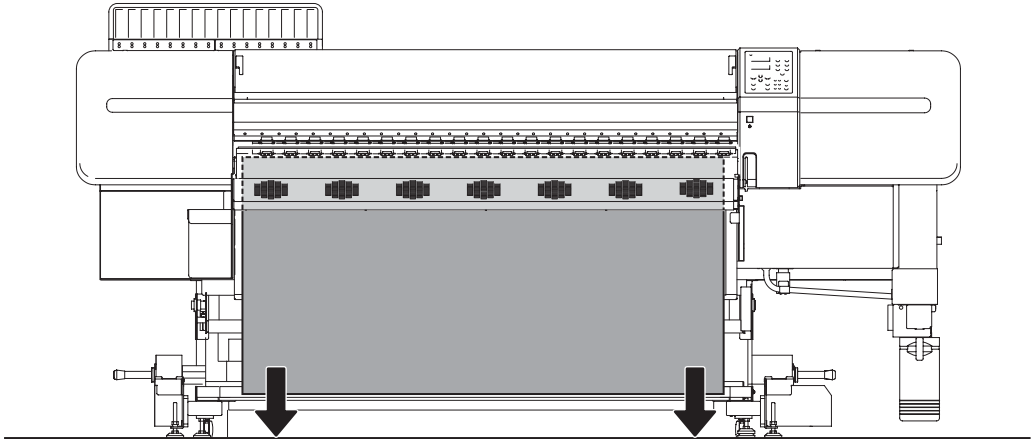


- 3 背面からクランプレバーを下げます。
装置前面のクランプレバーも連動して下がり、メディアが仮セットされます。



- 4** 装置前面に周り、前面からクランプレバーを上げます。
メディアの仮セットが解除されます。

- 5** 前面からメディアを引き出します。
メディアの両端を持ち、メディアの先端が床より 20～30cm くらい長く出るように引き出します。
(メディアをまっすぐセットするため、ここでは、メディアを長めに引き出してください)



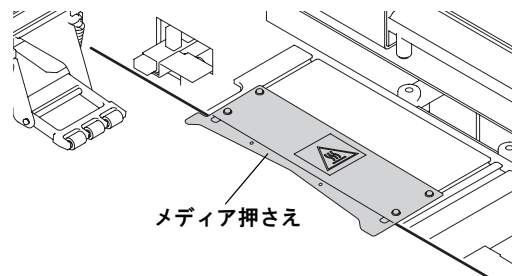
- 重要!** ■ここで、メディアの左右位置の確認をしてください。
プラテンの最右端から 50～120mm の位置にメディアの端があることを確認してください。
最右端から 50～120mm の位置にメディアの端がない場合、10 ページの手順 4 に戻り、位置の調整をしてください。

- 6** 本装置前面にある、メディア浮き防止用のメディア押さえで、メディアの両端を軽くはさみます。

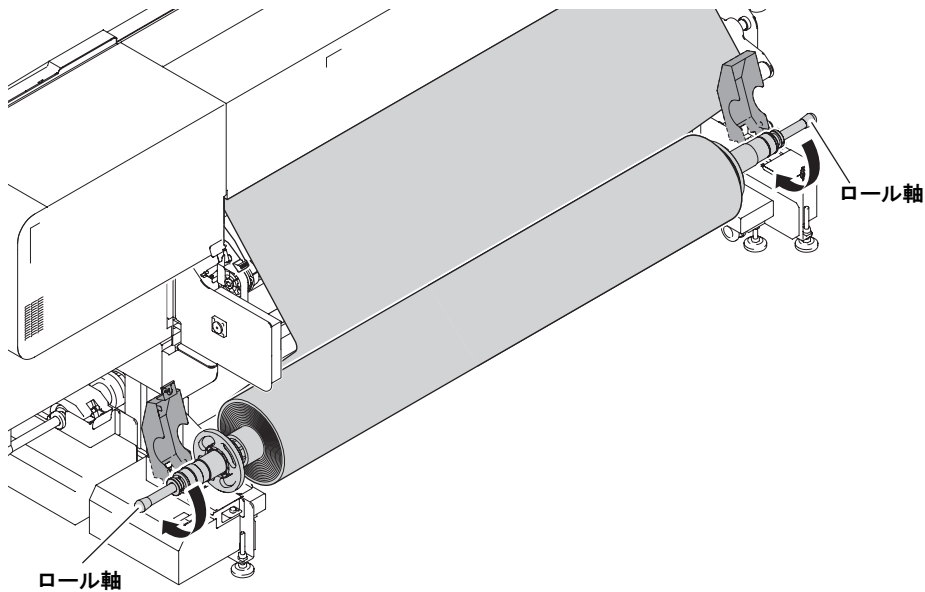
- 重要!** ■メディア押さえは奥まで押し込まず、軽くはさむ程度にセットしてください。



- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえを外して作図してください。

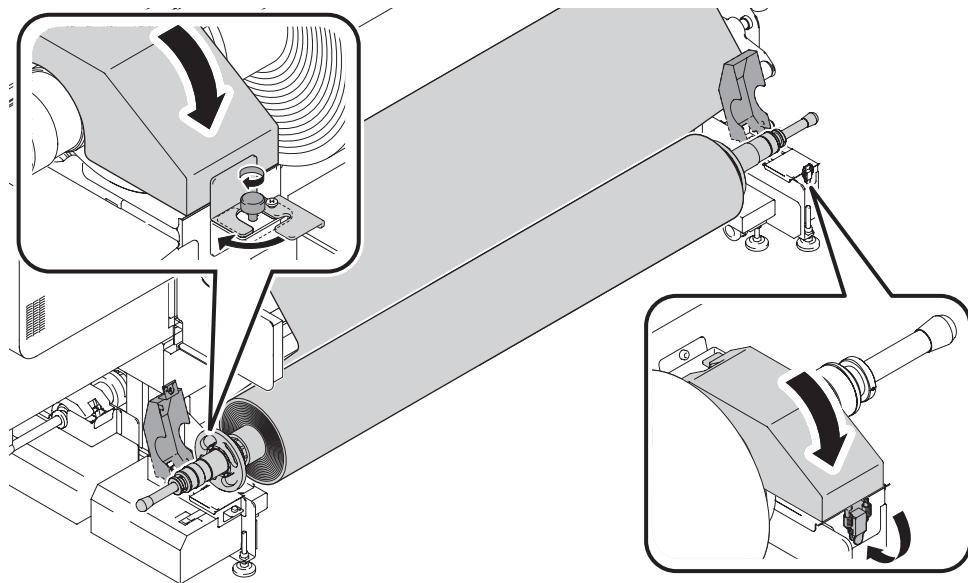


7 装置背面に周りロール軸を手で回転させて **30 ~ 40cm** 巻き取ります。

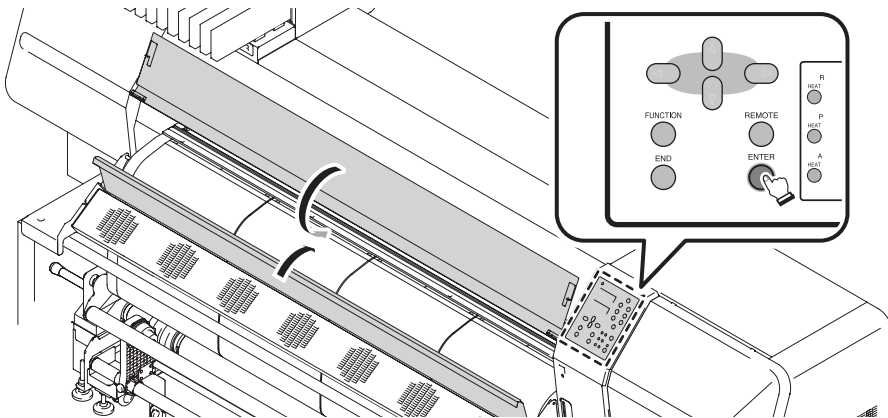


8 クランプレバーを下げます。

9 ロールシャフト左右にあるカバーを閉じます。

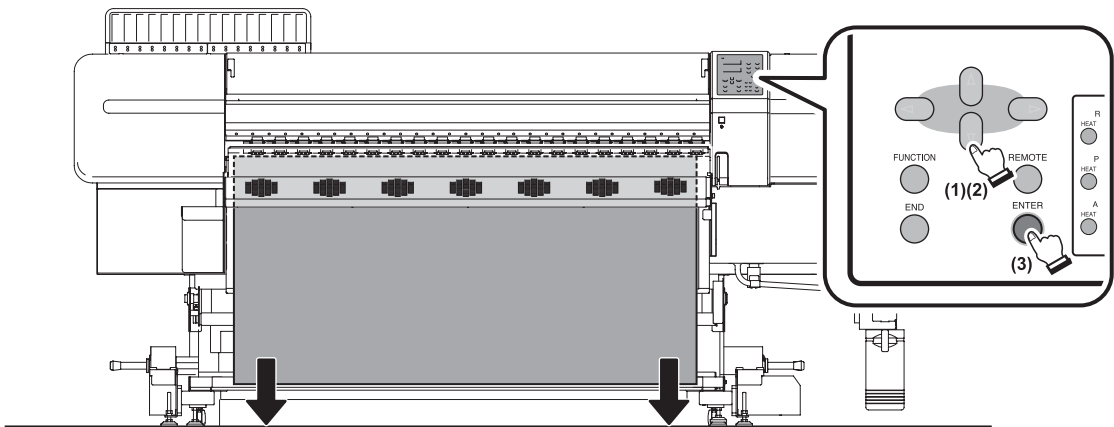


- 10** 装置前面に周り、フロントカバーを閉じて、操作パネルの **【ENTER】** キーを押します。
初期動作を行い、パネルが待機状態の表示になります。



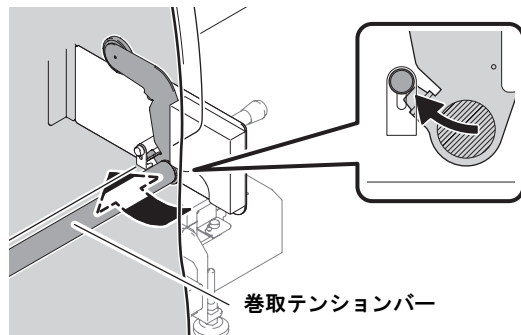
- 11** メディアの先端が床面につく位まで、メディアをフィードします。

- (1) ジョグキー **【▲】** または **【▼】** を押します。
- (2) ジョグキー **【▲】** **【▼】** を押して、メディアをフィードします。
- (3) 操作パネルの **【ENTER】** キーを押して、巻取装置の回転を止めます。

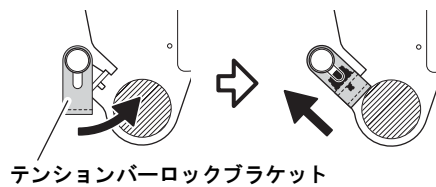


12 巻取テンションバーを押し込み、ロック位置で固定します。

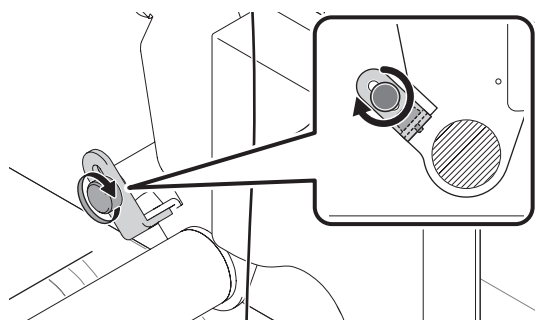
(1) 巻取テンションバーを押し込みます。



(2) テンションバーロックブラケットを巻取テンションバー側のフックに引っ掛け、矢印の方向にスライドさせます。



(3) ネジを回し、固定します。



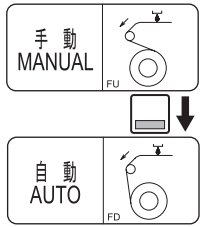
13 メディアの先端を紙管にテープで固定します。

メディアの先端を、紙管に粘着テープなどで固定します。メディアがしわにならないよう、メディアを引っ張りながら、図の番号の順に、複数箇所をテープで固定してください。

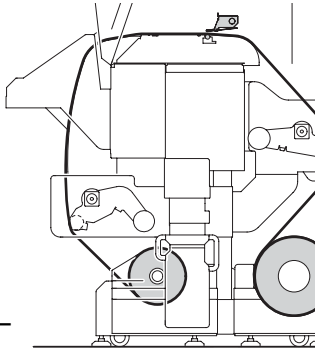


- メディアのたるみやシワは、作図中の画質に影響を与える場合があります。テープを貼る時に、図の矢印の方向へメディアを引っ張ってシワを伸ばし、張りを出すようにしてください。
- 紙管の左右位置が不適切な場合は、8 ページの手順 3 に戻り、位置を調整してください。
- メディアの巻取方向には内巻きと外巻きがあります。

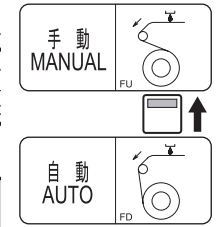
巻取スイッチの設定



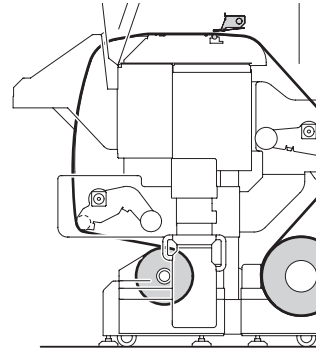
— 外巻き —



巻取スイッチの設定

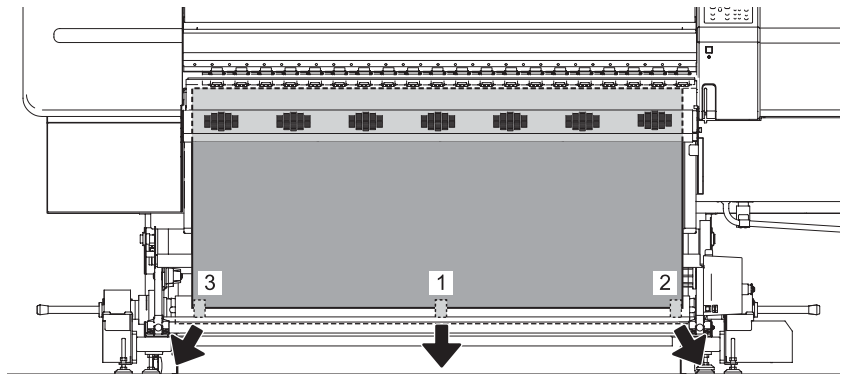


— 内巻き —

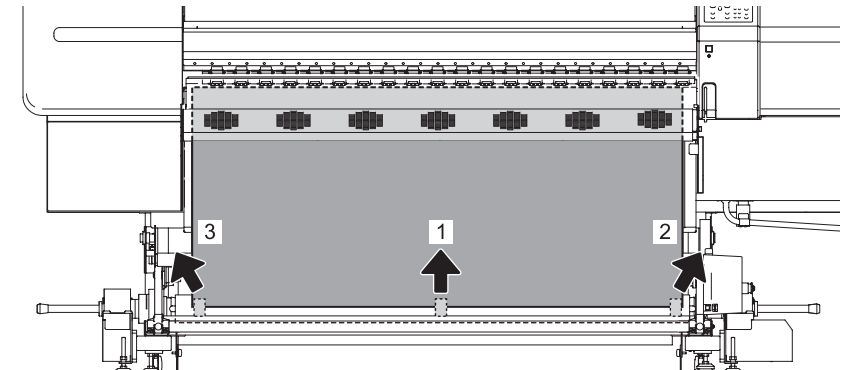


- 内巻きと外巻きでは、テープの貼り方が異なります。

— 外巻きの場合の貼り方 —



— 内巻きの場合の貼り方 —



- 14** 巻取テンションバーのロックを解除します。
テンションバーロックブラケットのネジを回し、ロックを解除します。

- 15** ジョグキー【▲】【▼】を押して繰出装置にセットしたメディアを送り、巻取装置にセットした紙管に繰出したメディアを巻きつけます。
メディアを1～1.5周程度巻きつけてください。

- 16** 操作パネルの【ENTER】キーを押して、巻取装置の回転を止めます。

以上で、ロールメディアのセットは完了です。

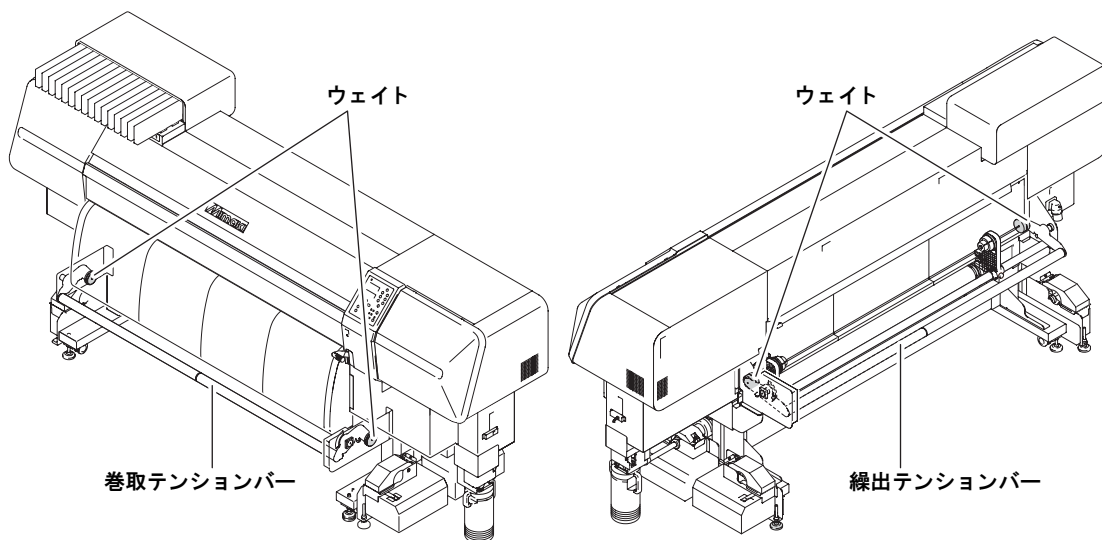
テンションバーのウェイトを調節する

テンションバーによってメディアに張りを持たせ、プリントに最適な状態にメディアを保つことができます。

ご使用になるメディアの種類に合わせ、巻取側および繰出側にあるテンションバーのウェイト（重り）を調節してください。



- 通常ウェイトは繰出側に4個(左右各2個)、巻取側に2個(左右各1個)で使用します。
- ご使用になるメディアの種類によって、使用上の不具合（メディアにテンションがかかりすぎる、またはテンションが弱い等）が発生した場合は、ウェイトの数を調節してください。



AMF ユニット 取扱説明書

2008 年 10 月

発 行 者 株式会社ミマキエンジニアリング
発 行 所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

D201930-10-24102008

